

■東京支部活動の報告

① 東京支部の「柑蘆誌」発送

東京支部より「柑蘆誌」の発送をいたしました。大学から「和歌山大学解体新書」、県東京事務所から「和みわかやまっぷ」、The CHOYA 銀座 BAR 等のご案内も金銅先輩から送っていただきました。 by草場幹事長



The CHOYA 銀座 BAR <https://www.choya.co.jp/the-choya-ginza-bar/>

梅体験専門店「蝶矢」鎌倉店 <https://kamakura.choyaume.jp/>

◆和歌山大学 ニュース

① 【Kii-Plus】和大生企画のご近所観光ツアー「The 和歌山懸人材誌」

南海電気鉄道(株)和歌山支社と和歌山大学紀伊半島価値共創基幹 Kii-Plus の連携事業「The 和歌山懸人材誌」を開催いたします。いずれも和歌山の偉人をテーマにした内容です。ぜひご参加ください。

「紀州の名治水家 井沢弥惣兵衛の足跡を巡る」

日時 | 12月12日(土)13時20分~16時20分

案内人 | 古畑武男氏(井沢弥惣兵衛さんを知ろう会副会長) / 久保輝希さん(和大経済学部3年生)

集合場所 | 海南駅前バス停

※詳しくはこちら <http://www.wakayama-u.ac.jp/region/news/2020111800052/>

② 【岸和田サテライト】 わだい浪切サロンのお知らせ

第122回わだい浪切サロンは、ドキュメンタリー『Yokosuka1953』の監督を務めた観光学部の木川剛志教授による講演です。本作品は、6月に開かれたイタリアの「ヴェスヴィオ国際映画祭」で最優秀ドキュメンタリー脚本賞を受賞。9月にはアイスランド・レイキャビクで開催された映画祭で最優秀長編ドキュメンタリー賞を受賞しました。

講演は Zoom ウェビナー を使用したオンライン公開講座(ライブ配信)です。

※詳しくはこちら http://web.wakayama-u.ac.jp/kishiwada/pickup/pickup_103.html

③ 産官学バーチャル交流会

新型コロナウイルス感染症の影響で世の中が大きくかわろうとしています。そこで和歌山大学 産学連携イノベーションセンターでは「ニューノーマル時代における和歌山大学の産官学連携活動を再考する」をテーマとして、和歌山大学に対する産官学連携活動に求められている課題に焦点をあてたバーチャル交流会を開催します。

<http://www.wakayama-u.ac.jp/cijr/news/2020111100039/>

【開催日時】令和2年12月8日(火) 15:00～17:00

【開催方法】ZOOM(オンライン)にて開催

【参加人数】80名(先着順)

※詳しくはこちら <https://www.wakayama-u.ac.jp/cijr/news/2020111100039/>

④ オンラインセミナー「スポーツツーリズム5～メガイベントが日本社会を変える～」

和歌山大学国際観光学研究センター(CTR)では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に前後して開催されるメガスポーツイベントを契機として日本社会に何が問われるのか、さまざまなトピックを取り上げています。

シリーズ第5弾は、早稲田大学スポーツ科学学術院教授の間野 義之氏を基調講演講師にお招きし、世界規模のスポーツイベントの連続開催におけるゴールデン・スポーツイヤーズ(GSYs)を活用したスポーツの成長産業のキーワードをお話いただきます。

日時 2020年12月6日(日)15時00分～17時00分

会場 Zoom ウェビナー(オンライン)開催

※詳しくはこちら <https://www.wakayama-u.ac.jp/ctr/news/2020102800023/>

⑤ 和歌山おもしろ科学大賞投稿動画コンテストをオンライン開催中

和歌山大学協働教育センター(クリエ)と青少年のための科学の祭典・和歌山大会実行委員会では、新型コロナウイルス感染症対策の影響で自宅等で学ぶ機会が多くなっている子どもたちに向けて、科学や技術をテーマにした投稿動画のコンテストを開催しています。これは、毎年、県内で開催している「青少年のための科学の祭典 ― 2020 おもしろ科学まつり ― 和歌山大会」のオンライン企画の一つとして実施しているものです。

今回、県内・県外の個人、教育機関、企業などさまざまな皆さまから、合計45件の動画のエントリをいただきました。どれも工夫に満ちたオリジナル動画です。本学からも教育学部やシステム工学部、クリエプロジェクトの学生から投稿がありました。

動画は、青少年のための科学の祭典・和歌山大会実行委員会のウェブサイト(▶こちら)の「コンテスト会場」からご覧いただけます。ぜひご覧ください。

※詳しくはこちら <https://www.kagaku-wakayama.com/omoshiro2020/>

⑥ 鳥取大学・和歌山大学合同ビジネス連携交流会(オンライン) 開催

鳥取大学と和歌山大学は「機能性素材が生み出す新たな価値」と題する合同ビジネス連携交流会をオンラインで開催します。機能性素材で新しい事業の立ち上げを検討されている企業の方や、現流製品に新たな価値の付加を検討している企業の方にはお役に立つ最新技術を知る機会になると思います。多数のみなさまのご参加をお待ちしています。

【開催日時】2020年12月21日(月) 15:30～17:30

【開催方式】Zoom ウェビナーによるオンライン開催(無料)

発表概要や参加申込みフォームの案内:<https://s.orip.tottori-u.ac.jp/exmeeting/>

令和二年十二月一日発行
十二月号
柑 蘆 同 人 誌



今月の表紙

雪 吊

第682号
2020.12

令和2年12月1日 柑芦同人誌 芦 火 第682号

清記を終えて 2 682号

○ 純一さんの散歩道の自然、今月はツクササとハゼラン。ツクササはよく路傍に咲いているのを見る。その鮮やかな青さに目を奪われ、心とませる花である。ハゼランは今回の紹介でその名を知ったが、確かにあちこちで見かけたことがある。よく覚えておきたい。すぎ行く秋を心にとめるスナップショットがうれしい。

○ コロナの動きがまた活発になっている。なかなか先が読めない。アメリカ大統領も大方は勝負がついたようだが、また先が見えない。日本と異なる選挙制度で長引かせている面がある。是非日本と同じ制度を実現してほしいが、アメリカは州の力が大きくて全国一律に出来ないようだ。簡単には変えられない。郵便投票は日本では実現できない制度でもある。大統領が変われば日本の対応も変わらざるを得ない。アジアの安全保障も難しくなりそうであり、貿易摩擦も復活しそう。日本はどう生きるか基本に考えておかないと右往左往の対応を迫られる。日本全体に国際問題に対する議論が少ないのも気になる。

○ 中国は国民にスパイを義務付ける法律を制定した。また他国民を、自国の法で裁く法もある。世界の常識と全く異なる法律を以て世界の大国であるという。香港もその制度下で悲鳴を上げている。米中が対立すれば逆に日本へしわ寄せが来そうである。クワバラ、クワバラ。

◎ 本高得点者

23点 純一 20点 穂心 19点 温州 18点 恵吉 16点 碧亥
14点 としを、勝 12点 六甲 11点 順一郎 8点 赤行

◎ 本号高得点句

9点 山々の雲湧くところ 龍友の花 勝
6点 母と児の寄り添ふ足湯小鳥来る 恵吉
6点 トタン屋根二度弾んで木の実落つ 穂心
6点 蔓枯れてなほ紅残す鳥瓜 温州
5点 秋風や空白多き予定表 純一
5点 道標に読めぬ文字ありちろ虫 純一
5点 奔放に生きて答なしとろろ汁 恵吉
5点 漁火や松原越しの星月夜 穂心
5点 来し方を自問自答の夜長かな としを
5点 生かされて八十路半ばや月今宵 碧亥

惜しい！4点句 城跡を温州 生きてをればとしを 用終へし勝
秋冷の純一、山門を六甲、

◎ 次号宗匠「切捨て御免」担当「純一」

兼題 雪吊 雪の重みで陸木が折れないように、幹に沿って一本の支柱を立て、それから縄や針金を八方に張り渡し、枝をつつて力を添えてやる。金沢・兼六園の雪吊は有名。果樹も護る。

・雪吊の松を真中に庭広し 高浜虚子 ・雪吊の松縄の垂挿せるなり 山口賢子
・雪吊の縄の香に導く夕明かり 飯田龍太 ・雪吊にいつも四五人足とどむ 宮津昭彦
・雪吊の百万石の城巒る 阿波野青歌 ・雪吊の中の落日まふしめり 新田祐久
・雪吊の力の限り雪の降る 倉田絃文 ・雪吊って百万石の構へかな 清水基吉

◆和歌山関連 ニュース

① 和歌山梅酒キャンペーン

令和2年9月7日付けで「和歌山梅酒」が、酒類の地理的表示（GI：Geographical Indication）の指定を受けたことを契機として、次のとおり首都圏PRキャンペーンを実施します。一連のキャンペーンを通じて、和歌山梅酒をはじめとする和歌山県産品の魅力を積極的にPRしてまいります。

＜わかやま紀州館フェア＞

期間：令和2年11月1日（日）～令和3年1月31日（日）

場所：わかやま紀州館 <http://www.kishukan.com/>

※詳しくはこちら

http://cms.office.pref.wakayama.lg.jp/temp/071700/7/index_d/fil/wakayamaumeshu.pdf

② イチロー氏と智弁和歌山 ブラバン「魔曲」きっかけに2年前から交流

イチローさんと智弁和歌山の交流は2年前から始まった。18年11月に、自主トレ拠点のほっと神戸で行われていた近畿大会の智弁和歌山―明石商戦を観戦。ブラスバンドを中心とした応援に感銘を受けたことが始まりだった。

※詳しくはこちら

<https://www.sponichi.co.jp/baseball/news/2020/12/05/kiji/20201204s00001000716000c.html>

■東京発！わかやま情報は、和歌山県東京事務所をクリック♪

東京を中心とした首都圏での『和歌山』に関連した情報を発信しています。

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/tokyo/index.html>

《現役生・卒業生活動》

■ クロスオーバーホルン奏者 東谷慶太さん(教育30期) 音楽番組を無料配信中♪



KEITA MUSIC ROOM 第2シリーズ

ときめき 作曲 鬼武みゆき

2020年9月21日 かながわアートホール 収録

HORN 東谷慶太 PIANO 鬼武みゆき

<https://youtu.be/S0AQkJmyBnw>

<https://www.youtube.com/user/PopCorneProject>

東谷慶太オフィシャルサイト

<https://keita-higashitani.com>

文・編 47期 中川貴照

柑芦会東京支部フェイスブック <https://www.facebook.com/groups/325065827574556/>

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 7-17-14 新宿シティ源ビル 5F 柑芦会東京支部

柑芦会専用電話:03-3366-3680 平日 9:00～18:00 土曜日:9:00～15:00

共用 FAX:03-3369-3469 柑芦会東京支部宛と記載下さい。 e-mail: tokyo@kourokai.com